

県立青少年教育施設指定管理者外部評価委員会の概要と 朝霧野外活動センター令和2年度評価結果

(社会教育課)

1 目的

指定管理者による管理運営等が、県立青少年教育施設として健全・安全かつ、適切に行われているか評価を行い、適正な管理運営や提供するサービスの向上を図る。

2 委員

役職	立 場	氏 名	所 属
委員長	学 識 経 験 者	渋 江 か さ ね	静岡大学 准教授
委 員	利用者代表 (学校)	水 谷 良 治	浜松市立三ヶ日中学校 校長
委 員	利用者代表 (学校)	山 崎 雅 史	富士宮市立井之頭小学校 校長
委 員	危機管理専門家	阿 部 郁 男	常葉大学社会環境学部 教授
委 員	海洋活動専門家	鉄 多 加 志	東海大学海洋学部 准教授
委 員	野外活動専門家	脇 坂 茂	日本ボーイスカウト静岡県連盟 副理事長
委 員	財 務 専 門 家	兼 高 則 之	公認会計士 兼高会計事務所

3 評価の視点及び評価の材料

視点	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営が適切に行われているか ・利用者へのサービスの向上が図られているか
材料	<ul style="list-style-type: none"> ・各種報告書 (収支状況、維持管理、利用状況、施設運営、事業運営 等) ・モニター調査

4 開催状況

	開 催 日	会 場	協 議 内 容
第1回	4月23日(金)	朝霧野外活動センター	評価項目、評価方法確認、施設視察及びヒアリング
第2回	5月14日(金)	三ヶ日青年の家	施設視察及びヒアリング
第3回	6月25日(金)	県庁	評価決定

(参考) 指定管理期間

年度		H19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3
朝霧	期	第1期 (3年間)			第2期 (5年間)			第3期 (5年間)			第4期 (5年間)					
	指定管理者	日本キャンプ協会グループ														
三ヶ日	期	/			第1期 (3年間+1年間)			第2期 (3年間)		第3期(5年間)						
	指定管理者	/			(株)小学館集英社 プロダクション			三ヶ日フィールドパートナーズ								

5 年度評価結果<朝霧野外活動センター>

◇ 9段階評価ポイント

評 価 項 目		評価ポイント		
		R2 年度	R1 年度	H30 年度
評 価 の 総 括		A	A	A
項 目 別 評 価	①青少年教育施設として安全・安心・快適に利用できる施設の管理	A	A	A
	②青少年教育施設として安全・安心・快適に利用できる施設の運営	A	A	A
	③青少年の健全な育成を図る事業の運営	A	A	A+
	④学校利用への適切な対応	A	A	A
	⑤青少年教育施設としての目的にあった活動の展開	A+	A+	A+
	⑥安全な野外活動実施のための取組について	A	A	A
	⑦提案や要望に対する実行状況	A-		

(参考) 9段階評価ポイントの意味

記 号	意 味	その他
A	十分満足できる	ABC に対し、必要に応じて+の付加記号を付ける。
B	おおむね満足できる	
C	努力を要する	

◇ 評価の総括 【9段階評価 A+ **A** A- B+ B B- C+ C C-】

- ・魅力の多い朝霧高原の施設であり、安全・安心・快適に利用できる青少年教育施設として、総合的に判断して十分に満足できるものである。
- ・指定管理者モニター調査に対する回答はどれも高い評価が得られており、記述の内容からも満足度は高い。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対策が、しっかりとなされている。
- ・施設に関しては指定管理者だけの対応に難しい部分がある中であっても、可能なことには積極的に取り組まれている。
- ・財務状況については、令和2年度はコロナ禍の影響により利用料収入、事業収入が激減する一方、管理費や人件費などの固定費の負担がある中、県委託料収入の補正分もあり、収支差はプラスを維持出来た。経費削減もギリギリまでやっていると思うが、デジタル化の推進等による消耗品費の削減など、もう一工夫が必要と思われる。なお、運営会社の財務状態は、特に問題はないと考える。

◇ 要望項目

- ・地域の良さを生かしたプログラムを取り入れるなど、一層の工夫をしてもらいたい。
- ・学校に対しては、より積極的なPRを行うことで、利用の促進につなげてもらいたい。
- ・利用者に対する伝え方のノウハウ等を職員同士が共有するなど、力量のさらなる向上に努めてもらいたい。
- ・施設の改修やネット環境の整備など、施設の運営を改善するにあたり必要な事項については長期的・計画的なビジョンをもって県と協議を進めてもらいたい。
- ・指定管理申請時の提案事項や、選定委員会での意見に対しては、年度ごとの到達目標を設定して取組を進めてもらいたい。

◇ 項目別評価

①青少年教育施設として安全・安心・快適に利用できる施設の管理 [9段階評価 A]

- ・点検および清掃等の維持管理業務が日常的に適正に実施されている。
- ・利用者からの声に対して、可能な範囲ですぐに対応・修繕にあたるなど、安全安心に利用できる施設づくりに向けた職員の高い意識がうかがえる。
- ・さらに安全・安心・快適に利用できる施設とするために、県と協力して施設の改善計画を立案し、段階的に実行していくことが望まれる。

②青少年教育施設として安全・安心・快適に利用できる施設の運営 [9段階評価 A]

- ・職員の資質向上を図るための研修への参加を積極的に行っており、職員の実践について利用者からの評価は全体的に高い。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響でキャンセルが多く出たが、食堂の運営をはじめ適切な対応に努めるとともに、本来は休所日である月曜日にも柔軟に受け入れるなど利用者側に立った対応は高く評価できる。
- ・食堂におけるコロナ対応による片づけ方の変更について、利用者からの改善要望があるが、施設側も初めてのことでやむを得ない面もあり、時間の経過とともに慣れてくると思われるので改善に期待したい。

③青少年の健全な育成を図る事業の運営 [9段階評価 A]

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止となった事業もあったが、適切な対策をとった上で多くの参加者を集めるとともに利用者から十分な評価を得た。
- ・キャンプや野外活動の指導者育成に取り組むとともに、大学との共同研究の成果を現場へフィードバックしている。
- ・課題であった雨天時のプログラムに対する評価も高まってきているが、まだまだ地域の良さを生かしたプログラムを取り入れるなど、工夫できる余地があると思われる。

④学校利用への適切な対応 [9段階評価 A]

- ・利用団体との事前の打ち合わせ時、職員の専門性を活かした丁寧で適切な説明がされており、利用者からの評価も高い。一方で、職員の実践に差があり、職員の資質向上に努めていただきたい。
- ・安全面での適切な指導助言や、悪天候によるプログラム変更への柔軟な対応など、必要な支援や対応が取られている。
- ・学校の受入れ対応は十分であるが、利用実績のない学校への利用喚起を積極的に進めてほしい。
- ・オンライン環境を整えていくことで、小中学校の一人一台PCを活用した校外学習など、時代に合った活動への対応が可能となる。

⑤青少年教育施設としての目的にあった活動の展開 [9段階評価 A+]

- ・利用団体のニーズに応じたプログラムの提供や、朝霧高原見どころガイドの作成など、利用者からの評価も高く、地域とのコラボ企画などの新しい取り組みもなされ、青少年教育施設として十分に評価できる。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で様々な制限と変更のある中で、オンラインの活用など工夫を凝らして講習会を行うなど、指導者の技術向上に努めている。

⑥安全な野外活動実施のための取組について [9段階評価 A]

- ・過去のヒヤリハット事例を事前打合せで利用団体に提供するなど、安全対策に努めている。
- ・マニュアルはわかりやすく整理され、事故対応訓練、災害時の訓練も適切になされている。
- ・所員のグループチャットを作り、緊急時にも迅速かつ適切な対応が出来るように情報共有が行われている。

⑦提案や要望に対する実行状況 [9段階評価 A-]

- ・提案や要望に対して、積極的に対応している。
- ・施設のPRの検討と新規事業の積極的な開発という要望に関しては、新型コロナウイルス感染症から生じる事案によって思うような対応ができなかったが、アウトドアブームを捉え、主催事業にキャンプ場利用を組み込むなど、本格的なキャンプ体験につなげる機会を設けている。
- ・指定管理申請時の提案事項や、選定委員会からの意見に対しては、5年間の提案の中での途上段階であるため、年度ごとの到達目標を設定して取組を進めてもらいたい。